

## 委員から出された旧市民球場跡地の活用に係る意見

注)【1～3 ページ】明朝体：第5回検討グループ会議 参考資料2「その他（デザインに関する意見など）」に記載された主な意見  
ゴシック体：第5回検討グループ会議における主な意見  
【4 ページ】中間取りまとめから抜粋

## 1 旧市民球場跡地の役割等に関する意見

- 原爆ドームの南側の平和記念公園は過去を振り返る場であるのに対し、球場跡地のある場所は未来を創造していく場所とすべきである。
- この地域は、平和記念公園と連続して平和都市広島の意味を発現する地域であるとともに、活力と多様性をもった都心としての役割と、河岸の自然を大きく包含して都市における人と自然の未来的なあり方を創り出す役割とを担って、広島の新しい中核をかたちづくる重要な地域である。
- 都心と結ぶ「輝く平和」の場としての活力とにぎわいのある内容を盛り込む。
- 広島の新しい中核をかたちづくるこの地域が常時、にぎわいの拠点として運営されるよう期待する。
- 紙屋町・八丁堀地区はこれから機能の低下という現象に直面するのではないかと考えており、何らかの特徴のある都心として、盛り返していくということを考える必要がある。紙屋町・八丁堀地区は、文化と遊びの拠点になるのではないか。これまでにある商業機能や文化機能、あるいは飲食といったものが徒歩圏内にある、そのおもしろさをもっと伸ばしていくという方向で考えるべきである。その意味から見て球場跡地は大変重要な役割を持っている。
- 何かここに見に来るといよりは、ここでつくり上げるといふ機能を持たせた方が、広島らしさになってくるのではないか。

## 2 軸線や平和記念公園とのつながりに関する意見

- 丹下健三氏の都市軸を生かすことは、外から見れば素敵なコンセプトである。
- 平和大通りに直交する丹下健三氏の都市軸を生かすべきである。
- 丹下健三氏の都市軸は大切にしていなければならない。
- 平和記念公園との連続性を強調し、平和記念公園からの景観を保持するため、いわゆる平和の軸線の理念を踏まえる。
- 平和記念公園と旧市民球場跡地は一体型として見た方が良い。
- 球場跡地を平和記念公園と一体化するため、原爆ドーム前から広い幅員の横断歩道を設置し、地域内の魅力的な移動手段を導入する。
- 球場跡地だけではなく、中央公園北側や平和記念公園、原爆ドーム周辺とあわせて景観を考えていく。
- 原爆ドームの存在は無視できないため、球場跡地をデザインする上では、その関係性を意識してデザインする必要がある。
- 原爆死没者慰霊碑からの景観について、商工会議所がなくなると、原爆ドームの背景には建物がなくなるため、非常にすっきりする。

## 3 商工会議所等の移転や河川とのつながりに関する意見

- 将来、商工会議所や河岸が綺麗になれば、非常に広々とした空間が得られる。
- 商工会議所ビルなどがなくなれば、オープンになる。
- 現在の中央公園を西側まで拡張し、そこにある民有地を現在のメルパルク側と等価交換のような形で公園を再設計すれば、中央公園自体も川との連続性が生まれ、オープンスペースも生かしてにぎわいをつくることのできるのではないか。
- 球場跡地の西側を河岸に開放し、緑地ゾーンとする。緑地ゾーンは、河岸との一体性を持たせるため、河岸緑地のレベル（海拔 5.3m）までかさ上げし、この下に駐車場や駐輪場を設ける。
- 商工会議所ビルは、広島市から移転の要請があれば、商工会議所において移転の是非も含めて検討する。

- 商工会議所等がある一帯を水に親しむことができる場所にする。
- 広島の特徴という中で河岸の使い方は必要ではないか。広島の特徴として皆さんに利用してもらうことが非常に重要ではないか。
- 広島の特徴の一つでもある河岸をどのように市民の日々に生かしていくかは、広島として大切な課題である。
- 川土手には宮島に行けるような桟橋や川土手には桜があるようなイメージが欲しい。
- 川の景観を利用して緑地化する。

## 4 ライトスタンドに関する意見

- ライトスタンドは残しても余り意味はないのではないか。
- 残っているライトスタンドを壊すことを市に依頼すればいいのではないか。
- ライトスタンドがあることに違和感がある。
- ライトスタンドはどの案を見ても邪魔になるのではないか。できれば、なくなった場合で考えた方が自由度がある。例えば、北側に観光バス駐車場を設置することを考えていく中でも邪魔になる気がする。

## 5 事業展開に関する意見

- 中央公園全体を 2045 年まで数期に分けて変遷する複合公園として作り上げる（参考事例：代官山ヒルサイドテラス）。
- 多目的に使っていただき、じっくり考えてはどうか。
- 当面広場として利用していただき、市民に使ってもらいながら、何がいいのかを考えていくことも一つの方法ではないか。
- 最初は簡易な施設だけ作っておけば良いのではないか。何十億円も掛けて、箱物を作って、将来こちらの方が良かったということにはしない方が良い。

## 6 中央公園に関する意見

- 中央公園全体を 2045 年まで数期に分けて変遷する複合公園として作り上げる（参考事例：代官山ヒルサイドテラス）。（再掲）
- 球場跡地だけでなく、ハノーバー庭園やこども文化科学館なども含め、大胆な考えで総合計画を立てていく必要があるのではないか。
- 中央公園を含めた形での改革を併せて行えばいい。
- 中央公園も視野に入れて考えた方がいいのではないか。
- 球場跡地だけではなく、中央公園北側や平和記念公園、原爆ドーム周辺と併せて景観を考えていく。（再掲）
- 青少年センターや図書館、映像文化ライブラリー等を集約して、文化的な場を球場跡地に置く。
- 文化芸術機能の中規模施設として、広島に関連する文学や芸術を集めた映像ライブラリーというイメージを持っている。市の映像文化ライブラリーも 30 年経過しており、新しいハードも含め、リニューアルを考えても良い。
- 広島は投資力はかなり限られていると感じており、文化芸術機能を持つてくるのであれば、何らかの既存機能のスクラップ、リプレイスを伴わない限り難しい。例えば郵便貯金ホールは 40 年経過し、青少年センターも 46 年経過している。こういうものをスクラップしながら、球場跡地に新しい投資を持ってく

るのであれば、何らかの形で文化機能を強化するということが考えられる。その中に神楽の発表など新しい要素を盛り込むことも考えられる。

## 7 周辺地域との回遊性向上に関する意見

- 河岸の自然との融合、都心との接続、この地域を含む周辺一帯との魅力的回遊性、広範な圏域からのアクセスなどを確保する。
- 球場跡地を平和記念公園と一体化するため、原爆ドーム前から広い幅員の横断歩道を設置し、地域内の魅力的な移動手段を導入する。(再掲)
- 球場跡地の東側に諸施設や交通施設などを盛り込んだ都市的コンプレックスに設けるコンコースや地域東側の道路などにより、自由広場・グリーンアリーナ・中央図書館・ひろしま美術館などとの快適な回遊性を創り出す。
- 球場跡地東側のそごう・パセーラ・クレドなどとデッキやコンコースなどで連結して都心との一体性を確保する。

## 8 各機能等に関する意見

### (1) 緑地広場機能について

- 球場跡地西側を緑地ゾーンとし、単なる緑地広場でなく、大規模なイベントを開催するためのステージ・音響・照明・界壁・膜構造屋根などの施設が可能な装備を備える。
- 緑地は使い勝手が良く、仮設的な屋根を作るといった格好になるのではないか。
- イベント広場は、世界から来るアーティストや芸術家、政治家たちのメッセージを発表、表現してもらい、地元の人たちもそこで発表するというようにいろいろなレベルの使い方がある。
- 世界の力を引っ張って行くことができないか。広島ブランド力ということにもなるが、平和記念公園や平和記念資料館も多くの芸術家が訪れてくるはずであり、彼らの発表してもらい場が割と考えやすい。大きな施設ではなく、緑地を生かして、屋外のステージのようなものを作っていけば良い。軸線の景観を尊重するとともに、ここは世界の芸術文化の表現の場になるような、そういう軸として使っていく必要がある。緑地広場の中にも、そういう芸術文化的要素、イベントをやるような要素を盛り込んでいく必要がある。

### (2) 文化芸術機能について

- 文化芸術機能、文化力を向上させていくためには、単にホールや展示場、発表の場をつくれれば良いという問題ではなく、良い作品を作るための遊び場がないことが問題である。アーティストが何かワクワクするような、遊びながら作り上げることができないため、そういう場所、展示する場所と発表する場所が同時に必要である。
- 世界の芸術家の力を借りることにより、広島文化力を高めたら良い。同時に広島に来る国内外の方に平和記念資料館だけでなく、それに派生する様々な映像やアニメ、マンガなどを見てもらうことで、より広島の実相を理解していただける。平和記念資料館とは違った広島の平和芸術的なものを集めたものが欲しい。
- 文化芸術機能の中規模施設として、広島に関連する文学や芸術を集めた映像ライブラリーというイメージを持っている。市の映像文化ライブラリーも30年経過しており、新しいハードも含め、リニューアルを考えても良い。(再掲)
- 観光客が広島にもう1泊してもらえるような施設、神楽や世界のミュージシャンが持ってきた、広島に寄贈したギターが展示されている、オノ・ヨーコ氏の何かが展示され、それも一緒に見れるという形で、観光客の移動が図られるようなものがあれば良い。

- 文化芸術施設については、ガチとしたものが必要なのか、臨時的なものでいいのかがある。金沢の芸術村は、0時から24時まで365日使える演劇やピアノの練習場などがあるが、広島にはそういったものがない。
- 球場跡地に施設を作るのであれば、紙屋町交差点に近いところ、人が容易に入りやすい東側の方が良い。西側に作ると少し遠いような気がしており、河岸との一体性を考えても、施設を作るのであれば東側にすべきである。
- 大規模な施設については、こんなに広場全体を使うような広さがあるのか疑問である。
- ホールは、市内にある1,000人規模、また、それ以上のホールというのは、広島市が東京も抜いて、全国の都市の中で1番であり、少ない人口で一つのホールを持っているという現状にある。その現状の中でスクラップ&ビルドが必要であり、市全体での使い分け、棲み分けを考えなければいけない。

### (文化芸術機能と緑地広場機能との組み合わせについて)

- 文化芸術機能だけではにぎわいをつくれなため、野外ステージやイベント広場、フードフェスタができる場所など、色々なことができることを考えてはどうか。多目的に使える方が良く、劇場やホール、アニメ・マンガ拠点だけでなく、イベント広場や野外ステージもないと、単一目的になってしまう。また、文化芸術施設(大規模施設)は、こんなに大きくしなければ、周辺に十分そういった場所もとれる。
- 芸術村という形での「芸術文化機能」を備えた建物、緑地については、イベント広場でイベントを開催するような形で、常にこの辺のにぎわいをつくりながらやっていったらどうか。
- 箱物重視でやるパターンもあるが、緑地の中に日常的に気軽に発表できる場があり、広場に来れば何かやっている、何か展示されている、芸術的なものも含めてであるが、そうなればおのずと人は集まってくる。その発展型で箱ものの中で発表するというケースもでてくるかもしれない。若い人だけでなく、年齢にこだわらず、いろいろな人の発表の場を用意することで、芸術文化を広げ、ここを発信地とする新たな芸術文化もでてくるのではないか。

### (3) スポーツ複合型機能について

- 街並みに連続性を持たせ、試合があるときだけではなく、日々、人が集うような、寄ってくるような施設、多機能性ということを非常に重視している。
- 稼働が30日というのは、サッカーのみとして捉えるためであり、多機能型の形をとる目的は、多くの市民が毎日、朝も昼も夜も寄ってくるような施設としていくということである。
- 音楽イベント等を行う場合、コンパネ等を敷き、養生をした上でコンサート等を開くという形になる。
- 音楽ホールでもそうであるが、建設費よりは、その施設の維持にどれだけの費用が継続的にかかってくるかということの方がはるかに重要な問題である。継続して発生する経費、市の負担をいかにしない形にするかが今後の課題であり、スポーツ複合施設は、そういう形に持っていきける。
- スタンド下には、物産館、観光案内所、青少年センター、アニメのセンターなど、いろいろなものを取り込むことも考えられるが、何をに入れるのかは今後の課題である。
- 劇場やホテルなどをスタンド下にいろいろ入れた場合、中央部にサッカー場があるため、お互い移動するとしても、大回りしていくように感じる。
- サッカー場は球場跡地でなくても良いのではないか。人工芝で本当にJリーグの試合ができるのかというところがあり、天然芝にするとそこでのイベントが難しくなる。2万人、4万人規模のものがあるのか。複合施設を作ることに、ヨーロッパは複合施設の中にショッピングセンターを入れているものもあるが、更なるショッピングセンターは、あの地区にはいらぬということが紙屋町・八丁堀、商業をやっている者の願いである。そういう意味からすると、例えば、宇品地区や出島地区にサッカー専用スタジアムを早期に作り、そこにはショッピングセンターや飲食が入っても良いわけである。天然芝のスタジアムとして4万人規模、5万人規模のものを作れば、バスや電車、自家用車を

置けるところが一杯あるため、最適ではないか。観音というアイデアもあるが、交通の便などを考えたときになかなか難しい。

- 人工芝について、供用開始されるのはおそらく3年ぐらい先となるが、その時に日本サッカー協会が方針を変えていない場合は、J1がここで開催できないということは致命的な欠陥となるため、天然芝でいかざるを得ない。
- 都心部にサッカー場をという考え方の中には、20年先のサッカーファンやサッカー選手を広島から輩出することを祈念したいということもある。

#### (4) 補完施設について

- 総合観光案内センターを作るのであれば、建物の中に入れていただきたい。新たに建てるのではなく、建物の表側に作る、そして、広島県が作るという形になるのではないか。

#### (5) その他

- この地域の東側をにぎわいゾーンと設定し、都心と公園との緩衝・結節の意味を持たせるとともに、活力ある諸施設や交通施設などを盛り込んだ都市的コンプレックスを創出し、にぎわいのあるこの地域全体の中核とする。
- 建物を作らずに人が集まるもの、若しくは一つのまちをつくって欲しい。
- 日常的に市民や観光客、修学旅行生に来ていただくためには、何を目玉にするかを考えないとけない。それぞれの案が単一目的な感じを受けてしまう。球場跡地は多目的に使える方が良い。
- 敷地を世代ごとに五つのゾーンに分け、多様な世代が楽しめる空間にする。

# 旧市民球場跡地活用アイデアの他の大規模未利用地との機能分担について

主たる機能

## 1-1 アミューズメント機能

テーマパーク、遊園地、水族館、動物園、映画館、温浴施設

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・テーマパーク等を作るには旧球場跡地は狭すぎる。  
 ・旧球場跡地でなくとも他に適切な場所がある。  
 ・マリナーホップが隣接する西飛行場跡地に集約した方がいい。

## 1-2 展望機能

展望タワー

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・旧球場跡地でなくとも他に適切な場所がある。  
 ・旧球場跡地では高さ制限に引っ掛かってしまうため、二葉の里地区などがよい。

## 1-3 産業振興機能

メッセ施設、コンベンション施設

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・大規模なものは旧球場跡地には適切ではない。しかし、都市型のものであれば、可能性はある。  
 ・海の玄関、宇品にある用地に作ればよい。

## 1-4 商業機能

ショッピングセンター、アウトレットモール

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・競合を避けるため、既存のところが良い。

## 1-5 飲食物販機能

屋台村(産業奨励館の復元など街並み再現)、広島の特産品街、広島名物の飲食街

(旧球場跡地に必要であるとする意見)  
 ・公共空間を生かした魅力的なものであればよい。  
 ・補完的なものであればよい。

## 2-1 文化芸術機能

劇場、ホール(歌舞伎座、神楽殿、公会堂、音楽専用ホール、ライブハウス)、アニメ・マンガ拠点

(旧球場跡地にふさわしいとする意見)  
 ・広島駅との役割分担の下、紙屋町・八丁堀地区の持つ回遊性、界限性を生かすための核になる可能性がある。  
 ・平和記念公園や原爆ドームの北側にあるという点や滞在型の観光振興を図るという点から、文化的なものがほしい。  
 ・市民が気軽に立ち寄り、散策できるものがある。  
 ・文化振興を図る上での基礎は広島にはある。

## 2-2 芸術創造機能

美術館、芸術文化活動拠点(市民の発表や展示のための拠点)

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・周辺に既存施設として美術館などは多いため、それらを充実すればよい。

## 2-3 教養機能

博物館(自然科学系、歴史系)、図書館、広島にゆかりのある人物の記念館

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・博物館などについては、知の拠点である広島大学本部跡地がよい。

## 3-1 スポーツ・遊戯機能

サッカースタジアム(天然芝)、野球場、スポーツ(カーブ)記念館

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・サッカー場建設は、紙屋町二丁目としては、経費や試合数、設備投資の問題で疑問である。わざわざ一番立地条件の良い旧球場跡地に造らなくても良いのではないか。  
 ・西飛行場跡地に南道路が整備されることなどもあり、スタジアム等は他の大規模未利用地でよい。  
 ・スタジアムのような大規模な施設ではなく、市民が気軽に立ち寄り、散策できるものがある。  
 ・西飛行場跡地は、(周辺に)野球場やテニス場などもあり、スポーツの場所として最適なのではないか。  
 ・西飛行場跡地において、各種スポーツ団体がマリンスポーツ機能を付加しようとしている。

## 3-2 スポーツ複合型機能

複合スタジアム【ヒューマンパレス】(人工芝。サッカー、コンサート等の開催が可能で、スタンド下に様々な機能を取り込む。)

(旧球場跡地にふさわしいとする意見)  
 ・大手町一丁目としては、サッカー場としても使用できる複合施設を造り、皆が望む機能を取り込んでみてはどうかと考えている。  
 ・現在、Jリーグの公式戦等は天然芝のグラウンドで開催するように指導されているが、天然芝の場合、32週間(年間の3分の2)程度は他の目的で使用できないため、いろいろな催しが開催できるよう人工芝としている。国際サッカー連盟は人工芝を公認しており、日本でも近い将来、人工芝でJリーグの公式戦を開催できる可能性は高いと考えている。  
 ・複合スタジアムは子どもが遊ぶことやフットサルで使うことを拒否するものではなく、市民祭などいろいろな形で広場を使えればよいと考えている。  
 ・スポーツ等複合機能として、サッカーのための施設ではなく、文化的な機能を付加した形と捉えることもできる。  
 ・イベント広場は雨が降ったときに使いにくいいため、屋根があった方が使いやすいが、原爆ドームから見て、屋根など大きな形の施設が目映えるのはいかがか。  
 ・(施設を)掘り下げて造ることにより、我々の望むものが全部盛り込めるのであれば、解決方向に向かうのではないか。  
 ・観客が非常に多く来るため、路面電車やバスなど交通の便がいい旧球場跡地がよい。

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・サッカー場建設は、紙屋町二丁目としては、経費や試合数、設備投資の問題で疑問である。わざわざ一番立地条件の良い旧球場跡地に造らなくても良いのではないか。  
 ・西飛行場跡地に南道路が整備されることなどもあり、スタジアム等は他の大規模未利用地でよい。  
 ・スタジアムのような大規模な施設ではなく、市民が気軽に立ち寄り、散策できるものがある。  
 ・すぐに箱物を造るよりも、市民に使っていただき、どういう使い方をされるかによって次に箱物を議論すればいいのではないか。  
 ・市民や県外、海外から来た人が交流してにぎわいをさらに拡大していけばよいと思うが、スポーツ(サッカー)施設ができてしまうと、サッカーが好きな人以外、あるいは県外、外国から来た人には関係ない施設になる。  
 ・サッカー場の周りに様々な設備を付けているが、本当にできるかどうか分からないため、図面を描いて、それで意見をいただきたい。  
 ・複合スタジアムは、「文化芸術機能」や「緑地広場機能」と並立するのかが疑問である。

## 4 平和発信機能

平和博物館、平和運動の拠点、爆心地の復元(産業奨励館の復元など街並みの復元)

(他の未利用地等でよいとする意見)  
 ・既存の平和記念公園で十分充足されるため、そこで機能強化を考えるべきである。

## 5 緑地広場機能

緑豊かなオープンスペース(芝生広場、都市の森、子どもの遊び場、噴水や池)、イベント広場、多目的スポーツ広場【スポーツチャレンジフィールド】、平和のための広場、慰霊碑・モニュメント(イサム・ノグチのセノターフ、大仏)、植物園、菜園

(旧球場跡地にふさわしいとする意見)  
 ・旧球場跡地は公園であるため、重要である。  
 ・紙屋町・八丁堀地区の回遊性、界限性を生かすため、また、観光との連携という点からも人が立ち寄りたくなるような魅力的な公共空間、イベント広場が重要になる。  
 ・元安橋のオープンカフェのようなゆっくりくつろげるオープンスペースが必要である。  
 ・若者が楽しめるようなイベント広場が必要である。  
 ・商工会議所等がなくなれば、水とグリーンの中で、文化的なものや緑地広場がもっとオープンになる。  
 ・旧球場跡地は、2、30年掛けて作り上げていくようなものがある。5年くらいは何もない広場があったら、そこから何か生み出していくことを考えた方が形になっていくのではないか。  
 ・当面広場として市民に利用してもらうことで、市民のニーズが見えてくるのではないか。  
 ・イベント広場は、国際級のイベント広場にする必要がある。

## 6 交通機能

バスセンター

(主な意見)  
 ・特になし

## 7 その他

老人福祉施設、児童福祉施設、医療施設、大学、研究機関、行政機関、テレビ局、ホテル

(主な意見)  
 ・議論するまでもない。

主たる機能の補完施設

○ 総合観光案内センター  
 ○ 観光バス駐車場

(補完施設とする意見)  
 ・かなり重要である。

○ 飲食物販施設

(補完施設とする意見)  
 ・補完的なものであればよい。

○ 一般駐車場  
 ○ タクシー専用乗降場  
 ○ ヘリコプターの待機場

(主な意見)  
 ・特になし

○ 駐輪場  
 ○ レンタサイクル場

(補完施設とする意見)  
 ・回遊性が生まれるようにするため、必要である。

○ 子育て支援施設

(主な意見)  
 ・特になし

○ 大型遊具

(補完施設とする意見)  
 ・ハノーバー庭園は使い勝手が悪いので、親子で遊ぶことができるスペースを設けたい。